

# 青少年ベルフオンテン市派遣事業～研修編～

選考試験～研修を終えるまで

中野 千鶴子

## 《選考試験—5月19日(日)13:00～16:30 鈴鹿市役所》



筆記試験と日本語・英語による面接を行い、応募者32名(中学生12名、高校生20名)の中から、中学生・高校生をそれぞれ6名ずつ選考しました。

近年、筆記試験だけでなく、面接による本人の意欲・自己アピール度の高さを重視して選抜しています。

今年度は倍率が高く、選考するのが大変でした。

どういうわけか、選抜されたメンバーは全員女子！でした。

## 《保護者説明会—5月24日(金) 18:20～20:00 ジェフリー鈴鹿》

派遣生とその保護者に、国際交流協会の活動内容の紹介をする他、出発までの流れやホームステイ等について細かく説明しました。

また、三岐観光サービスやRHトラベラーの方からは、パスポート申請手続きや、持ち物等についての説明などを行いました。



## 《研修会—5月25日(土)～8月2日(土)までの計12回》

研修会は、保護者説明会の翌日から出発直前まで毎週末行い、派遣生は、スピーチやパフォーマンス、歌の練習に取り組みました。

彼女等は、それぞれ学校のクラブ活動やテスト勉強の最中に、時間を融通して研修に出てこなければならず、大変だったと思いますが、皆よく頑張りました。

以下は研修の様子です。

### 【自己紹介の練習】

まずは自己紹介の練習から。

この事業では、日本での出発式・訪ねる先々で、まず自己紹介と所信表明をしなければなりません。日本語と英語、両方共暗記して、大きい声でハキハキと、笑顔で言う練習を何度もします。

毎年そうですが、英語の自己紹介&所信表明では、当初多くの子は、発音もアクセントも息継ぎも何もかも滅茶苦茶で、悪戦苦闘します。

毎週、毎週、繰り返し練習しながら、最後は見違えるほど立派に挨拶ができるようになります。

最後の仕上げの時には、感動しますね！



## 【パフォーマンス】

### \*カップパフォーマンス

今回は、パフォーマンスの候補がたくさん挙がりました。宝塚のラインダンス、カンナムスタイル、スリラーなど、どれも魅力的な内容ばかりでした。

しかし最終的には、カップを使ったパフォーマンスをやることに決定しました。

これは、これまでにない珍しいスタイルのパフォーマンスで、歌いながらカップを複雑に動かしてリズム音を出すという器用さと、また、全員の息がピッタリと合わなければならない結束力・集中力が求められます。

派遣生が全員女子！という点を活かして、これで行こう！と全員一致で決まりました。

早速、カップの動かし方の練習から始まりました。事前に、YouTube を観てマスターしてきたメンバーが中心となって他のメンバーに教え、全員あつと言う間に覚えてしまいました。

カップだけでは飽きるので、途中、振付けも自分たちで話合って入れて、これに合う曲「じょいふる」も見つけました。動きを合わせたり、歌を暗記したりと、順調に進んで行きました。



歌は、「Tomorrow」や「Hey Jude」などの候補曲もあった中から、One Directionの「Up All Night」に決まりました。テンポの良い曲で、初めは歌えるかどうか心配でしたが、何度か練習するうちに、これも又、すぐに覚えてしまいました。女子力！すごいです！！

One Direction は日本でもかなり人気のあるグループのようで、メンバーの中にもファンだと言う子が数名いました。

### \*ダンス

カップパフォーマンスも歌も早く仕上がって来て、メンバーに余裕があったので、歌にダンスを加えることにしました。歌って踊るのです。

ダンスの振り付けが出来る人はいないかと探していた所、ちょうどタイムリーに、鈴鹿青年会議所（JC）の方で踊れる人が居る！という情報を聞きつけました！

確認した所、ナント、知合いのJCメンバーが、昔、安室奈美恵さん達と一緒に、EXILEのヒロさんからダンスを習っていたという方だったので！！

もちろん、早速、お願いしました！

とてもお忙しい時期だったのに、快く引き受けて下さり、振り付けとダンスを教えてくださいました。



鈴鹿JCの江崎 正峰さん



今回は、高校生数人と交流会が持てるということでしたので、日本の学校生活について紹介することにしました。

小学校・中学校・高校の仕組みは、日本とアメリカでは随分異なります。

日本の学校の特徴を紹介したら、きっとみなさんに興味を持って聞いて頂けるだろうと、次の6つのポイントについて、それぞれ役割分担し発表しました。

それぞれの説明については、生徒達が、自分達の学校生活を基に文章を考え、英訳は高校生が担当しました。

## ①クラス制度

日本の学校は4月に始まること。担任と副担任がいること。

小学校では、担任が全教科を教えること。

中学・高校では、各教科の先生が、それぞれのクラスに来て授業をすること。

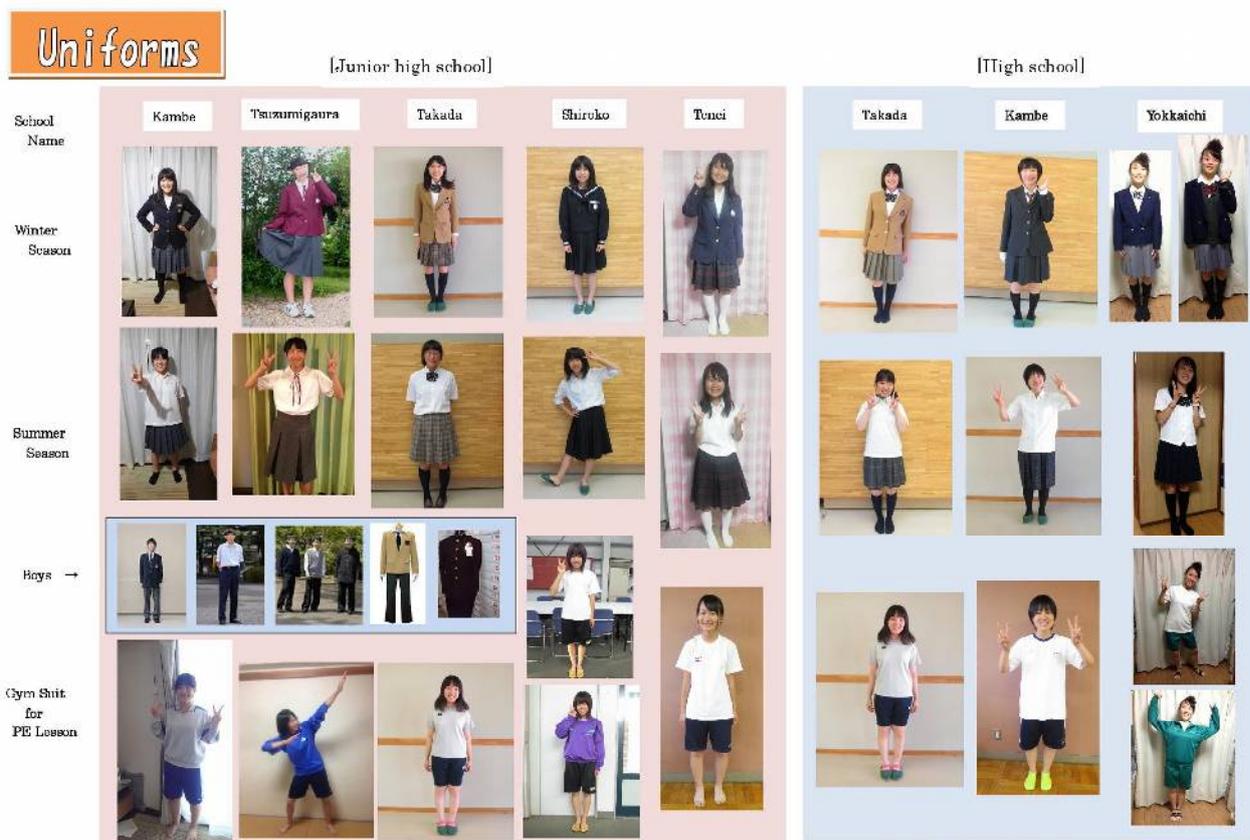
(アメリカでは、生徒が教室を移動しますネ。)

家庭訪問や学校行事のことなどなど・・・アメリカにはないもの、逆のことがあったりするの  
で、面白いです。

## ②制服

それぞれの学校で、ブレザーとセーラー服など、色々なタイプの制服があること。

衣替えのこと。校則について。など具体的に派遣生の制服の写真を見せて説明します。



### ③ 朝礼・読書・掃除

特に、読書や掃除の時間などは、日本独特の決められた時間です。

生徒が教室の掃除をするなんて・・・外国では滅多にないことです。

[Morning Assembly]



[Time of Reading books in the morning]



[Cleaning time]



#### 《学校のお掃除にまつわるちょっとしたエピソード》

以前、鈴鹿に住んでいたブラジル人のお母さんのお話。

ブラジルから日本に来たばかりの頃、息子さんが小学校で掃除をしているという話を聞いて、何故、自分の息子がそんなことをやらされているのか！？とびっくりした。

ブラジルでは生徒が教室の掃除をすることはないので、先生が無理にやらせていると思い、息子が可愛そうになった。

しかし、日本では日常的なことで、全国的にどの学校でも生徒達が掃除を知って感動した。これは、子どもの教育にとっても素晴らしいことで、日本の学校は素晴らしいと思った。……というお話を、実際に聞いたことがあります。

今回、ベルフォンテンでも、たくさんの人に発表しましたが、教師や市の関係者の方々は、みなさんとても感動され、こういう制度は是非取り入れるべきだ！とわざわざ私の所まで言いに来て下さった先生方もいらっしゃいました。

#### ④ 給食・お弁当

学校の給食制度や日本の色とりどりのお弁当は、とても特色があります。  
これも、写真をたくさん見せて、説明します。

**Kyushoku**

<Preparation>






Milks are heavy!→




clothing of the person on duty



<Serving meals>






Monthly Kyushoku Menu→

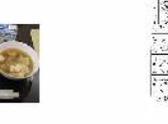
Children bring the menu of the next month home from school at the end of the month. The parent reads the menu and tries to not cook the same thing for dinner as it was for lunch.



<Kyushoku Lunch meals>







<Lunch time>






<Putting away>




#### [Obento : Lunch Box]



This is the "Obento" that Chorus sings. Every mother (or sometimes father) cook "Obento" every morning for 6 years from junior high to high school. Parents have to get up early morning to get "Obento" ready. It's an hard, but it's good for the children. The lunch is filled with a parent's love.

#### [Chorus Contest]



⑤ 合唱コンクール

合唱コンクールのために、クラスごとに力を合わせ、授業後も残って練習すること。これで、クラスに結束力が生まれ、絆が出来ること。保護者は発表会で歌を聞いて感動し、涙する人も多いことなど説明します。(写真は前ページ)

⑥ 運動会・体育の授業・防災訓練

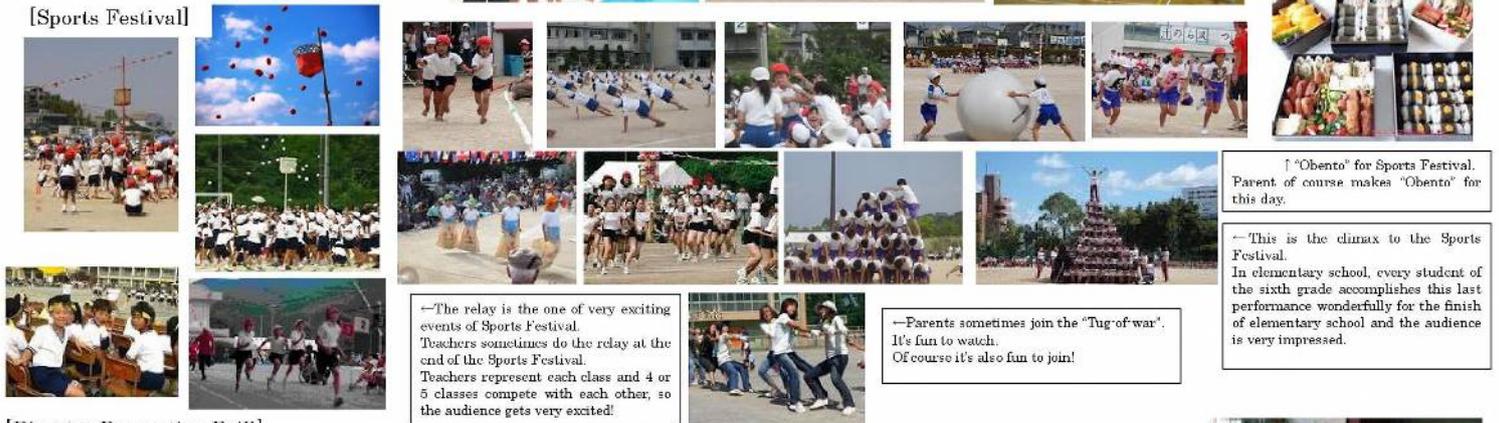
運動会も外国では珍しい行事です。また体育の授業で、様々なスポーツに挑戦したり、水泳をしたりすることも珍しいので、具体的に説明をすることにしました。

また、3・11以降、防災訓練に力を入れていることなども、併せて紹介します。

[PE Lessons]



[Sports Festival]



↑ "Obento" for Sports Festival. Parent of course makes "Obento" for this day.

—This is the climax to the Sports Festival. In elementary school, every student of the sixth grade accomplishes this last performance wonderfully for the finish of elementary school and the audience is very impressed.

—The relay is the one of very exciting events of Sports Festival. Teachers sometimes do the relay at the end of the Sports Festival. Teachers represent each class and 4 or 5 classes compete with each other, so the audience gets very excited!

—Parents sometimes join the "Tug of war". It's fun to watch. Of course it's also fun to join!

[Disaster Prevention Drill]



## 【鈴鹿のゆるキャラ紹介】

日本には、ゆるキャラがたくさんあります。今や、日本のほとんどの県や多くの市が、それぞれユニークなマスコットキャラクターを持っています。

そこで、今回、「すずか茶ん」（鈴鹿青年会議所の地域活性促進キャラクター）と「かりんちゃん」（社会福祉協議会のイメージキャラクター）を紹介することにしました。

「すずか茶ん」と「かりんちゃん」は、近年、鈴鹿市内で行われる多くのイベントに、よく揃って登場していて、市民にもかなり馴染んできて、人気が出てきているキャラクターです。

この鈴鹿の二つのキャラクターを紹介する前に、私達は、まず「ゆるキャラ」とは何か？という、日本の文化の説明から始めなければなりませんでした。

いわゆる普通のマスコットキャラクターとゆるキャラの違いをまず英語で説明します。

そして、それから、「すずか茶ん」と「かりんちゃん」、それぞれの誕生の経緯や特徴を写真を見せながら説明することにしました。

そして、鈴鹿青年会議所様と社会福祉協議会様をお願いして、それぞれのキャラクターグッズ（クリアファイルやバッジ、マウスパッドなど）をお土産用として分けて頂きました。

どちら様も快く、可愛いグッズを下さり、本当に有難かったです。

感謝の気持ちを込めて、しっかりこのふたつのキャラクターをベルフォンテンに広めて来よう！と説明のスピーチの練習にも、力が入りました。

そのお蔭で、ベルフォンテンでは、市長をはじめたくさんの人に、「すずか茶ん」と「かりんちゃん」をお披露目してることが出来ました！



## 【ゲスト】

研修には、たくさんの方が派遣生の応援・激励に来てくれました。

### \*ALTメンバー

何と言っても、一番多く研修に顔を出してくれたのは、ALTのケンダル・ブラウンさんです。彼女は、オハイオ州ベルフォンテン市出身で、このプログラムには深い関わりがある方なのです。ベルフォンテンの彼女のご家族は、以前から鈴鹿からの派遣生を何度も受け入れて下さっていたホストファミリーだったのです。そして、私達がベルフォンテンへ行った時は毎年、フェアウェルパーティなどにも顔を見せて下さって、ケンダルさんにもそこで何度かお逢いしていました。彼女には、ALTとして鈴鹿に来た当初から、鈴鹿国際交流協会の事業に積極的に協力してもらっています。それで、今回も、派遣生達の研修会に何度も来て頂き、発音のチェックやスピーチ原稿のチェック、ベルフォンテンのお話など、とても熱心に協力して頂きました。

本当に、とても助かりました。ケンダルさん、ありがとう♪



そして他のALTメンバーも最後の総仕上げの研修時に激励に来てくれました。



カリフォルニア出身のヘイデンさん



ウエストヴァージニア出身のケイラさん

**\* S I F Aボランティアのブライアンさん**

英語の講師をしているブライアンさん、とても熱心に派遣生のスピーチを聞いてくれ、アドバイスをしてくれました。



みなさん、ありがとうございました！！



**\*先輩OBメンバー**

**昨年のOBメンバーが、アドバイスに来てくれました！**



**内田ゆずきちゃん**

**早瀬 里緒菜ちゃん**



**西脇彩央ちゃん**

**吉澤杏季ちゃん**

先輩達は、持ち物やお土産などのアドバイス、このプログラムを通して感じたことなど、各々意見を述べてくれました。

派遣生達は、少し緊張した面持ちで、自己紹介をし、ベルフォンテンで発表するパフォーマンスを、先輩メンバーに披露しました。



#### \* S I F A 職員

島村事務局長が派遣生の研修の様子を見に来ました。鈴鹿市長とベルフォンテン市長にする挨拶を聞いてもらいました。みんな、緊張してちょっと表情が硬かったかな？



職員の薫平おにいさんも、激励に来てくれました。

海外での体験談を色々お話してくれました。

海外で実際に起こったお話ですので、みんな興味津々。海外では、常に危険と隣り合わせ、ということもわかり、旅をする上での緊張感を持ってもらえたようです。



### \*三岐観光サービスさんによるお話

三岐観光サービスの谷さんと、私達の旅に同行して下さる添乗員さんのアニさんが、旅行上の注意点や持ち物、出国・入国手続きに関するお話をしに来てくれました。



**みんな一生懸命ノートをとっていますネ！**

### 《鈴鹿国際大学の文化交流会に参加》

研修の一環として、鈴鹿国際大学の文化交流会に参加しました。

派遣生にとっても、このような場にお邪魔することは、国際感覚を磨く良いチャンスです。

たくさんの留学生さん達と触れ合い、非日常的な体験が出来ました。





### 【研修会最後の通しリハーサル】

研修最終日には、見学希望の保護者のみなさまをお招きして、通しリハーサルを見て頂きました。派遣生は、12回に渡る研修で積み重ねて来た自己紹介やスピーチ、歌やダンスなどを、本番さながらに通しで発表しました。

保護者のみなさんにみていただくのは、今回初めての試みでした。

毎週末、研修会場に派遣生を送り迎えして頂くことは、ご家庭のみなさんにとっても大変だったと思います。保護者の皆様、ありがとうございました。



全12回の研修を終えて、後は出発するのみです。  
いよいよ、ベルフォンテンに向けて出発です！